

熊本市教育の情報化検討委員会
「教育DXに係る熊本市の現状」

令和8年（2026年度）3月24日（火）
熊本市教育センター



熊本市の概要

(令和7年5月1日現在)

人口 : 736,290人

世帯数 : 345,106世帯

(令和7年5月1日現在)

学校数・児童生徒数

	学校数	児童生徒数
幼稚園	6園	165人
小学校	92校	39,624人
中学校	43校	19,578人
特別支援学校 (小・中)	1校	69人
高等学校	2校	1,431人
特別支援学校 (高)	1校	79人
専修学校	1校	105人

義務教育課程
59,271人

減少傾向。今後5年で1,000人規模で減少の見込み。

熊本市の
整備機器

(令和7年4月～)

○学習者用端末 (iPad第10世代セルラーモデル)



- 台数 65,300台 (予備機 (教員利用) 含)
- ストレージ 64GByte
- キーボード Rugged Combo 4
- MDM Jamf Pro

(令和7年2月～)

○大型提示装置 (電子黒板 : ELMO Board CBS-ELM65EB10)



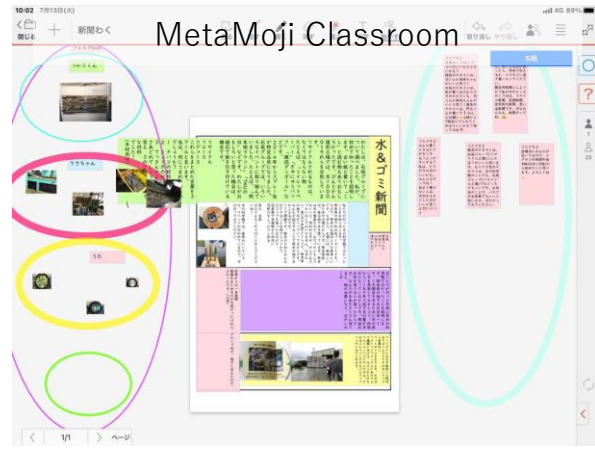
- 台数 3,400台 (普通教室・特別教室)
- OS Android ※本市はネットワーク接続なし
- サイズ 65インチ
- スタンド 昇降対応
- その他のポイント
 - iPad AirPlay (無線による画面投影対応)
※ Wi-FiアクセスポイントにiPadをクライアント接続することでAirPlayを可能とする。

熊本市の 整備機器 (ライセンス)



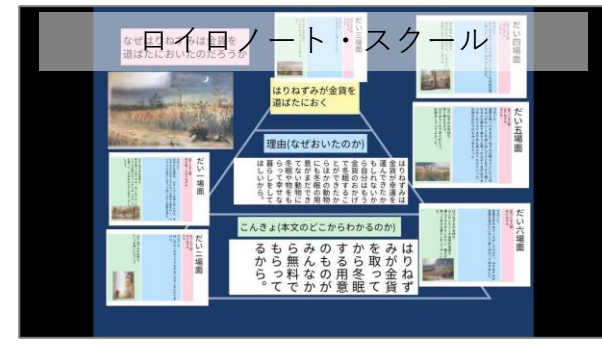
(基盤)

- Google Workspace for Education
- iCloud
- Microsoft365 ※教員のみ



(学習支援ソフト)

- ロイロノート・スクール
- MetaMoji Classroom



(ドリルソフト)

- ドリルパーク



(学習eポータル)

- まなびポケット





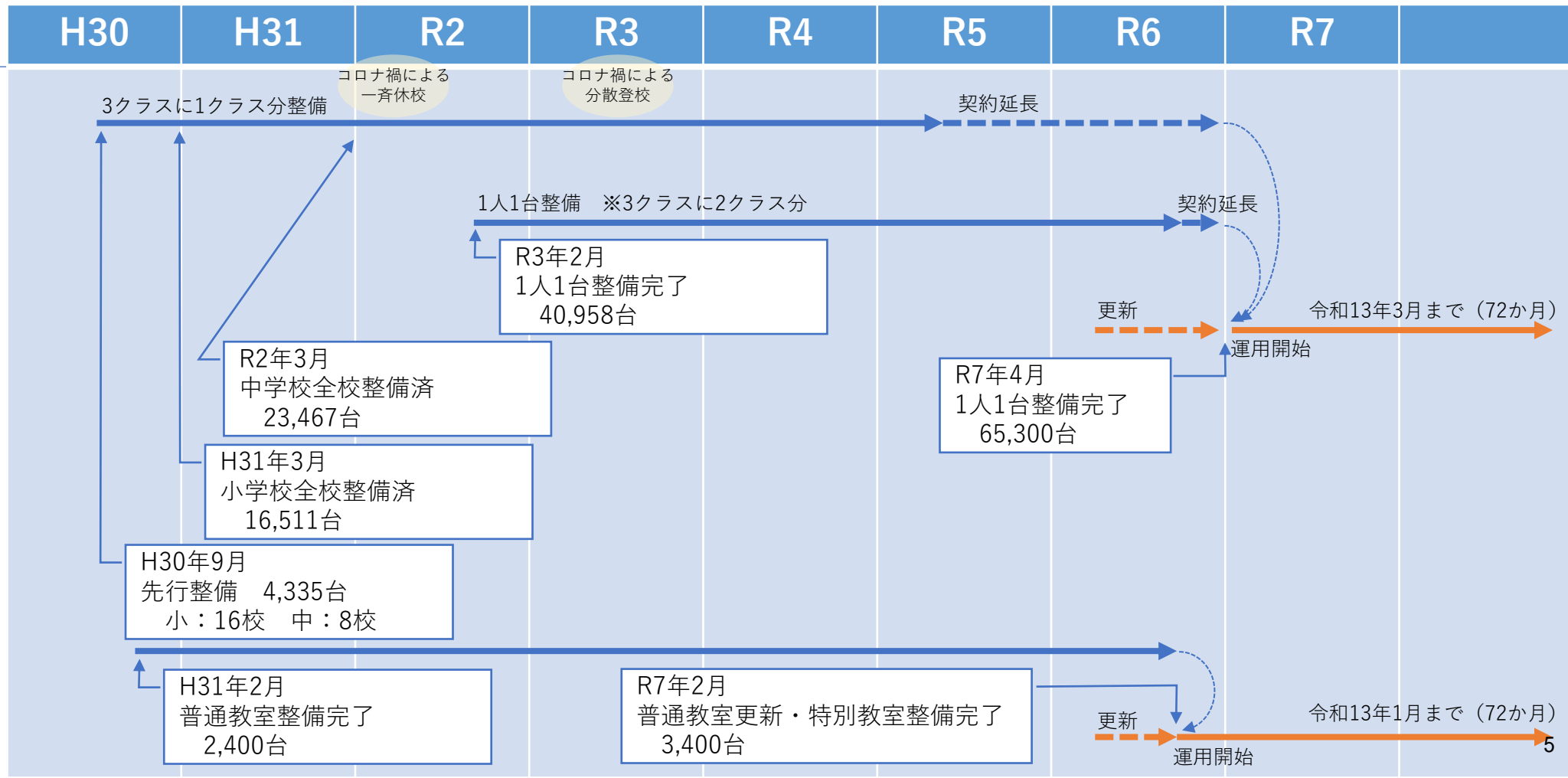
これまでの整備について

(国の動き)

- ▼教育のICT化に向けた環境整備5か年計画 (H30～R4年度)
- ▼GIGAスクール構想の拡充 (R2年度)
- ▼新学習指導要領 (小学校) 開始 (R2年度)
- ▼新学習指導要領 (中学校) 開始 (R3年度)
- ▼学校のICT環境整備に係る地方財政措置 (R5・R6年度)
- ▼学校のICT環境整備3か年計画 (R7～R9年度)

学習者用端末 (iPad)

大型提示装置 (電子黒板)



「教育DXに係る当面のKPI」とは？

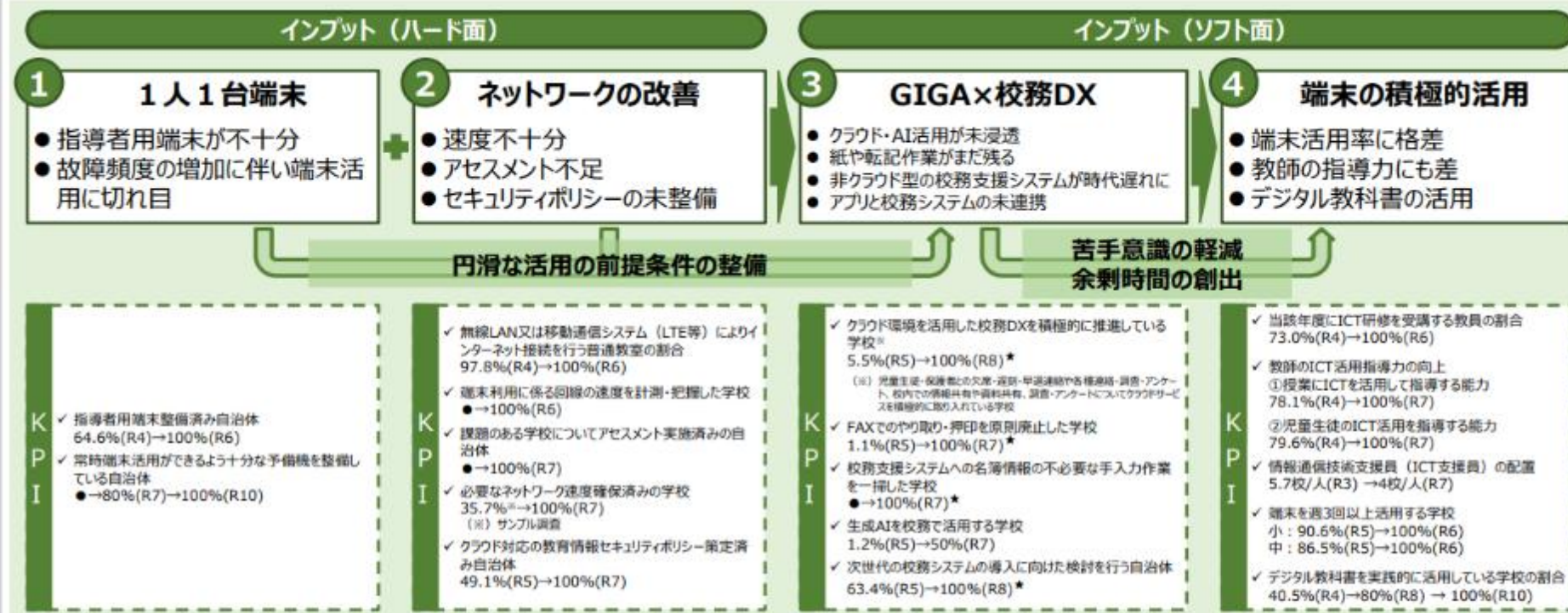
KPI=Key Performance Indicator=重要業績評価指標

最終的な目標達成に向けた、進捗状況を定量的に
評価するための具体的な数値目標

※令和6年4月22日にデジタル行財政改革会議で文部科学省より示された。

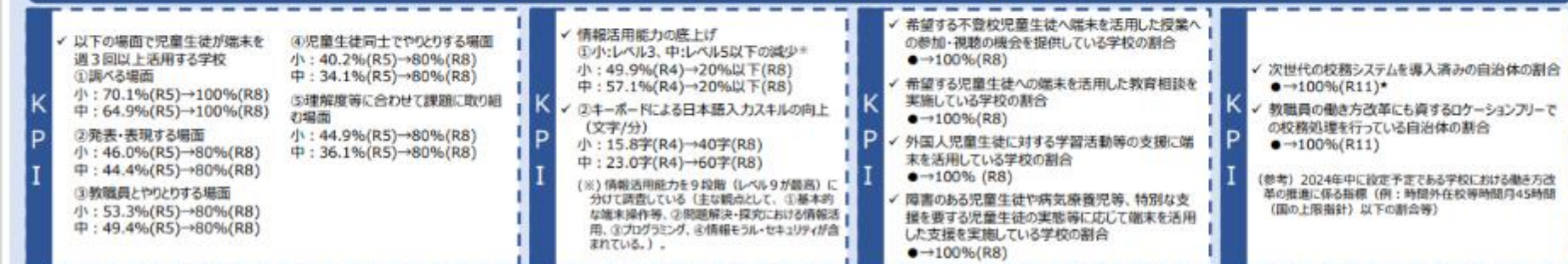
教育DXに係る当面のKPI

令和6年4月22日
デジタル行財政改革会議



アウトカム

① 個別最適・協働的な学びの充実 ② 情報活用能力の向上 ③ 学びの保障 ④ 働き方改革への寄与



●：現時点において未調査の数値 ★：ダッシュボードにより進捗を管理するKPI ※本資料については、取組の進捗を踏まえて継続的に見直す。

熊本市教育の情報化検討委員会

教育DXに係る当面のKPI

2025.10.31

	項目	全国の現状	目標	熊本市の現状	
インプット (ハード面)	①一人一台端末	指導者用端末整備 64.6% (R4)	100% (R6)	○ 平成30年9月	
		常時端末活用ができるよう十分な予備機を整備 80% (R7)	100% (R10)	○ 平成30年9月	
インプット (ソフト面)	②ネットワークの改善	インターネット接続を行う普通教室 97.8% (R4)	100% (R6)	○ e-net、セルラー	
		回線の速度を計測・把握 -	100% (R6)	○ 随時対応	
		課題のある学校へのアセスメント実施 -	100% (R7)	○ 随時対応	
		必要なネットワーク速度確保 35.7% (R5)	100% (R7)	○ 随時対応	
		クラウド対応の教育情報セキュリティポリシー策定 49.1% (R5)	100% (R7)	○ 令和6年4月	
インプット (ソフト面)	③GIGA×校務DX	クラウド環境を活用した校務DXを積極的に推進 5.5% (R5)	100% (R8)	Teams、すぐーる、forms など	
		FAXでのやりとり・押印を原則廃止 23.2%、7.1% (R6)	100% (R7)	FAX: 37.5%、押印: 5.9%の学校がないと回答(R6)	
		校務支援システムへの手入力作業を一掃 -	100% (R7)		
		生成AIの校務活用 41.1% (R6)	50% (R7)	○ 62.5%の学校で一部活用(R6)	
アウトカム	④端末の積極的活用	次世代校務システムの導入検討 63.4% (R5)	100% (R8)	○ 令和11年1月更新予定	
		ICT研修を受講する教員の割合 73.5% (R6)	100% (R6)	※熊本県 81.7%(R6確定値)	
		教師のICT活用指導力の向上			
		①授業にICTを活用して指導する能力 82.2% (R6)	100% (R7)	※熊本県 88.3%(R6確定値)	
		②児童生徒のICT活用を指導する能力 83.1% (R6)	100% (R7)	※熊本県 87.2%(R6確定値)	
		ICT支援員の配置 5.7校/人 (R3)	4校/人 (R7)	6.3校/人 (R7) ※熊本市139校(小中高特支)	
アウトカム	①個別最適・協働的な学びの充実	児童生徒が端末を週3回以上活用する学校	小: 72.9% 中: 71.2% (R7)	100% (R8)	小: 71.7% -1.2 中: 69.8% (R7) -1.4
		①調べる場面	小: 52.2% 中: 52.3% (R7)	80% (R8)	小: 67.3% +15.1 中: 74.4% (R7) +22.1
		②発表・表現する場面	小: 61.4% 中: 55.9% (R7)	80% (R8)	小: 79.3% +17.9 中: 62.8% (R7) +6.9
		④児童生徒同士でやりとりする場面	小: 46.3% 中: 39.3% (R7)	80% (R8)	小: 52.2% +5.9 中: 34.9% (R7) -4.4
		⑤理解度に合わせて課題に取り組む場面	小: 51.0% 中: 41.2% (R7)	80% (R8)	小: 41.3% -9.7 中: 34.9% (R7) -6.3
	②情報活用能力の向上	情報活用能力の底上げ	小: 49.9%		
		①小: レベル3、中: レベル5以下の減少	中: 57.1% (R4)	20%以下 (R8)	
	③学びの保障	②キーボードによる日本語入力(文字/分)	小: 15.8字 中: 23.0字 (R4)	小: 40字 中: 60字 (R8)	
		不登校児童生徒への授業への参加・配信	小: 78.8% 中: 81.8% (R7)	100% (R8)	小: 81.5% +2.7 ※100-「活用していない」% 中: 83.7% (R7) +1.9
		端末を活用した教育相談の実施	小: 52.3% 中: 50.6% (R7)	100% (R8)	小: 52.2% -0.1 ※100-「活用していない」% 中: 53.5% (R7) +2.9
外国人児童生徒へのICT支援		小: 90.1% 中: 91.0% (R7)	100% (R8)	小: 93.5% +3.4 ※100-「活用していない」% 中: 93.0% (R7) +2.0	
特別な支援を要する児童生徒へのICT支援		小: 90.7% 中: 88.9% (R7)	100% (R8)	小: 94.6% +3.9 ※100-「活用していない」% 中: 93.0% (R7) +4.1	
④働き方改革への寄与	次世代校務システムを導入済み	-	100% (R11)	令和11年1月更新予定	
	ロケーションフリーでの校務処理	-	100% (R11)	e-net/パソコンでWrap実証中	

教育DXに係る当面のKPI（インプット・ハード面）

	項目	全国の現状	目標	熊本市の現状	
①一人一台 端末	指導者用端末整備	64.6% (R4)	100% (R6)	○	平成30年9月
	常時端末活用ができるよう十分な予備機を整備	80% (R7)	100% (R10)	○	平成30年9月
②ネットワー クの改善	インターネット接続を行う普通教室	97.8% (R4)	100% (R6)	○	e-net、セルラー
	回線の速度を計測・把握	-	100% (R6)	○	随時対応
	課題のある学校へのアセスメント実施	-	100% (R7)	○	随時対応
	必要なネットワーク速度確保	35.7% (R5)	100% (R7)	○	随時対応
	クラウド対応の教育情報セキュリティポリシー策定	49.1% (R5)	100% (R7)	○	令和6年4月

教育DXに係る当面のKPI（インプット・ソフト面）

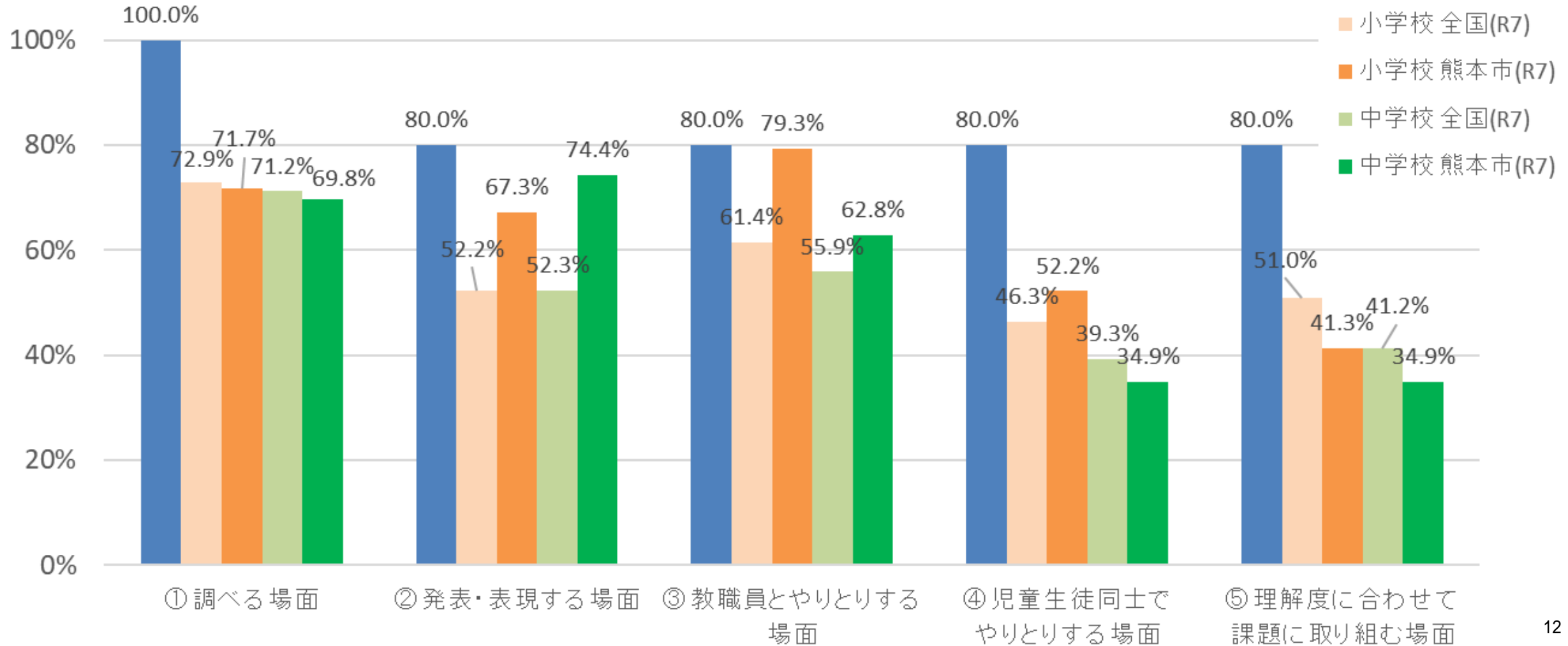
	項目	全国の現状	目標	熊本市の現状
③GIGA× 校務DX	クラウド環境を活用した校務DXを積極的に推進	5.5% (R5)	100% (R8)	Teams、すぐーる、forms など
	FAXでのやりとり・押印を原則廃止	FAX：23.2% 押印：7.1% (R6)	100% (R7)	FAX: 37.5%、押印: 5.9%の学校がないと回答(R6)
	校務支援システムへの手入力作業を一掃	-	100% (R7)	
	生成AIの校務活用	41.1% (R6)	50% (R7)	62.5%の学校で一部活用(R6)
	次世代校務システムの導入検討	63.4% (R5)	100% (R8)	令和11年1月更新予定

教育DXに係る当面のKPI（インプット・ソフト面）

	項目	全国の現状	目標	熊本市の現状
④端末の積極的活用	ICT研修を受講する教員の割合	73.5% (R6)	100% (R6)	※熊本県 81.7%(R6確定値)
	教師のICT活用指導力の向上 ①授業にICTを活用して指導する能力	82.2% (R6)	100% (R7)	※熊本県 88.3%(R6確定値)
	②児童生徒のICT活用を指導する能力	83.1% (R6)	100% (R7)	※熊本県 87.2%(R6確定値)
	ICT支援員の配置	5.7校/人 (R3)	4校/人 (R7)	6.6校/人(R7) ※熊本市146校(幼小中高特ビ)
	端末を週3回以上活用する学校	小: 96.6% (R7) 中: 94.5% (R7)	100% (R6)	○ 小: 100.0%(R7)+3.4 ※全国比 中: 100.0%(R7)+5.5
	デジタル教科書を実践的に活用している学校	40.5% (R4)	80% (R8) 100% (R10)	指導者用小中学校全教科 学習者用英語100%、算数学 50%程度に配付

教育DXに係る当面のKPI（アウトカム）①個別最適・協働的な学びの充実

以下の場面で児童生徒が端末を週3回以上活用する学校



教育DXに係る当面のKPI（アウトカム）③学びの保障

